

八潮高校が編集しました

清純真摯

～八潮の名こそわが力～

八潮高校は、普通科普通コースのほかに、体育コースがあることが特徴です。また、部活動に力を入れており、各大会で好成績を収めています。

今後の活躍が期待される女子ハンドボール部、卓球部の各運動部、八潮高校の文化祭「潮祭」で活躍している軽音楽部を紹介します。

女子ハンドボール部 部員8人

女子ハンドボール部は県大会で5位に入るなど、八潮高校でも実績をあげている部活です。

- Q. ハンドボールについて、簡単に教えてください。
- A. ハンドボールは、7人ずつの2組で行います。パスやドリブルなどでボールをつなぎ、相手のゴールに投げ込み、点を競うスポーツです。
- Q. イメージだと、バスケットボールに似たスポーツに感じます。相手との接触もありそうですね。
- A. 攻撃側と守備側で激しいぶつかり合いがあり、けがをすることもあります。
- Q. 部員数は多くありませんが、県大会では5位と好成績でした。経験者が多いんですか？
- A. 経験者もいますが、高校から始めた初心者もいます。
- Q. 勝つために大切にしていることはありますか？
- A. 基礎練習の徹底と声を出すことです。基礎練習ではディフェンスやシュート練習をします。声出しは、プレーの指示や、チームの士気を高めるときにします。
- Q. 今後の目標を教えてください。
- A. ミスを減らして内容の良い試合をすることです。



軽音楽部 部員27人

軽音楽部は、ギター、ベース、ドラム、ヴォーカルなどでバンドを組み、文化祭「潮祭」や予餞会(3年生を送る会)でライブを行っています。「潮祭」では、生徒や来客者の投票で決まる「潮祭大賞」に選ばれています。今回はヴォーカルにインタビューをしました。

- Q. ヴォーカルは、バンドの華というイメージがあります。
- A. ライブの時はそうかもしれませんが、実際には地味な練習をたくさんしています。
- Q. 例えばどんな練習ですか？
- A. 発声練習、いわゆるボイストレーニングを繰り返しています。また、歌の歌詞を繰り返し読み、抑揚をつけたり、感情を込めて歌えるようにします。
- Q. 実際のイメージとは違い大変なこともたくさんあるんですね。今頑張っていることは何ですか？
- A. 予餞会に向けて練習を重ねています。卒業する3年生のためにも、盛り上げられるようなライブにしたいです。



文化祭「潮祭」

八潮高校大イベントのひとつ、文化祭「潮祭」が9月6日・7日に行われました。

正面入り口には、1年生が作ったジブリのキャラクターが描かれたアーチを飾り、来場者を出迎えました。

また、「潮祭」恒例の体育コースによるパフォーマンスも行われ、1年生は「ソーラン節」、2年生は「スーパーサーキット」、3年生は「マッスルミュージアム」を披露しました。パフォーマンスはどれも力強く、観客を魅了していました。



体育コースパフォーマンス



八潮高校正門前アーチ

男子卓球部 部員18人

卓球部は、毎日体育館のステージの上で、仲良くわきあいあいと練習を重ねています。

- Q. 卓球は、器用な人がやっているイメージがあります。
- A. そんなことはなく、どんな人でも練習すればうまくなるスポーツです。初心者もいますが、基礎練習をしっかりすれば確実に上達します。
- Q. 基礎練習とはどんなことをやっているんですか？
- A. ワンコースという練習で、2人のうち片方がスマッシュを打ち続け、片方がブロックをします。試合で臨機応変に対応できるようになるので練習しています。
- Q. 今後の目標を教えてください。
- A. まずは初戦突破です。基礎練習を大切に、全員で気持ちを1つにすれば可能だと思います。



八潮高校 編集後記

2年 田中 星也

広報やしおの編集で、八潮高校の部活動などの取材を行い、改めてすごい高校だと実感することができました。八潮高校にいて恥ずかしくない生徒になりたいと思います。

2年 池川 紗恵奈

初めて広報やしおを作り、取材を行うことで、八潮高校の事をたくさん知ることができて良かったです。機会があれば、また広報やしおの編集作業に携わりたいです。

2年 萩原 健太

広報やしおの編集に携わることで、今まで知らなかった八潮高校の良いところをたくさん知ることができました。これらの生活に生かしていきたいと思いました。



2年 上野 紗弥

編集を通じて、普段関わることがない生徒とコミュニケーションがとれることが出来て、勉強になりまし。このような経験をすることが出来て良かったです。

★八潮高校名物先生★

ハンドボールで国体に出場
武藤 彩夏先生



武藤先生は、正義感のある方で、話してみると、とても優しく楽しい先生です。授業では体育を担当しており、部活動では女子ハンドボール部の顧問をしています。

先生は、プライベートでもハンドボールをしており、所属するチームのキャプテンとして国体に出場しました。

- Q. 国体に出場するときにはどんな気持ちでしたか？
- A. 今まで戦ってきたチームの分まで勝ちたい、また、キャプテンとしてチームをまとめたかったです。
- Q. 先生がハンドボールをはじめたきっかけを教えてください。
- A. 中学校3年生で進路を決めるときに友達に誘われ、高校入学後にハンドボールを始めました。周りに経験者が多く、不安な気持ちでいっぱいでした。
- Q. どうやってその不安を解消したんですか？
- A. 徹底して練習し、ハンドボールの試合を見て研究しました。
- Q. 先生から生徒に伝えたいことはありますか？
- A. 私がハンドボールを通じて学んだ「一生懸命努力すれば必ず実を結ぶ」ということを伝えたいです。高校生の皆さん、がんばってください。私たちも精一杯努力します。ありがとうございました！